

氏 名	藪内 俊彦
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博 甲第 7334 号
学位授与の日付	2025 年 9 月 25 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	Changes in body mass index during early childhood on school-age asthma prevalence classified by phenotypes and sex (乳幼児期の BMI 変化と学童期喘息有症率の関係：性別と喘息フェノタイプによる分類)
論文審査委員	教授 武内俊樹 教授 神田秀幸 准教授 秋山倫之

学位論文内容の要旨

乳幼児期のBMI変化と喘息有症率との関係を調べた研究は少なく、結果にも相違がある。全国出生コホートデータを用い、乳幼児期のBMI変化と学童期の喘息有症率との関連を、性別・フェノタイプ別に評価した。

2001年出生の47,015人を対象に、出生時と7歳時のBMIでそれぞれQ1～Q4に分類し、Q1Q1、Q1Q4、Q4Q1、Q4Q4の4群とその他の群で比較した。7～8歳時点での過去1年間の気管支喘息（BA）受診歴を解析し、BAをアレルギー性疾患の有無によりアレルギー性喘息（AA）と非アレルギー性喘息（NA）に分類した。

Q1Q4ではBA、AA、NAのリスクがいずれも有意に上昇。男性ではQ1Q4でBAとNAのリスクが有意に上昇したがAAは有意差なし。女性ではQ1Q4でリスク上昇は見られなかったが、Q4Q4ではAAのリスクが有意に高く、これは男性では認めなかった。

乳幼児期のBMI変化が性別や喘息フェノタイプにより異なる関係性を持つことが示された。

論文審査結果の要旨

全国出生コホートデータを用い、乳幼児期のBMI変化と学童期の喘息有症率との関連を、性別・フェノタイプ別に評価した。2001年出生の47,015人を対象に、出生時と7歳時のBMIでそれぞれQ1～Q4に分類し、Q1Q1、Q1Q4、Q4Q1、Q4Q4の4群とその他の群で比較した。7～8歳時点での過去1年間の気管支喘息（BA）受診歴を解析し、BAをアレルギー性疾患の有無によりアレルギー性喘息（AA）と非アレルギー性喘息（NA）に分類した。

Q1Q4ではBA、AA、NAのリスクがいずれも有意に上昇。男性ではQ1Q4でBAとNAのリスクが有意に上昇したがAAは有意差なし。女性ではQ1Q4でリスク上昇は見られなかったが、Q4Q4ではAAのリスクが有意に高く、これは男性では認めなかった。乳幼児期のBMI変化が性別や喘息フェノタイプにより異なる関係性を持つことが示された。

本研究は、小児科学における乳幼児期の体重増加と喘息の発症リスク等について、重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。